

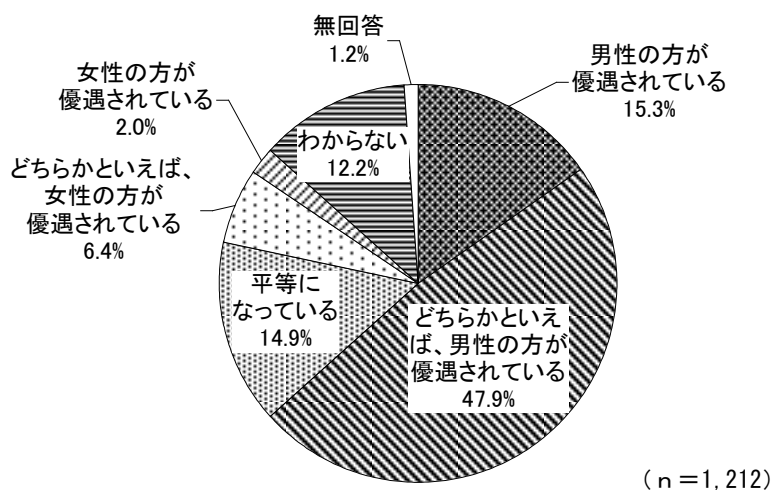
7 男女平等意識について

(1) 社会全体の中での男女の地位の平等感

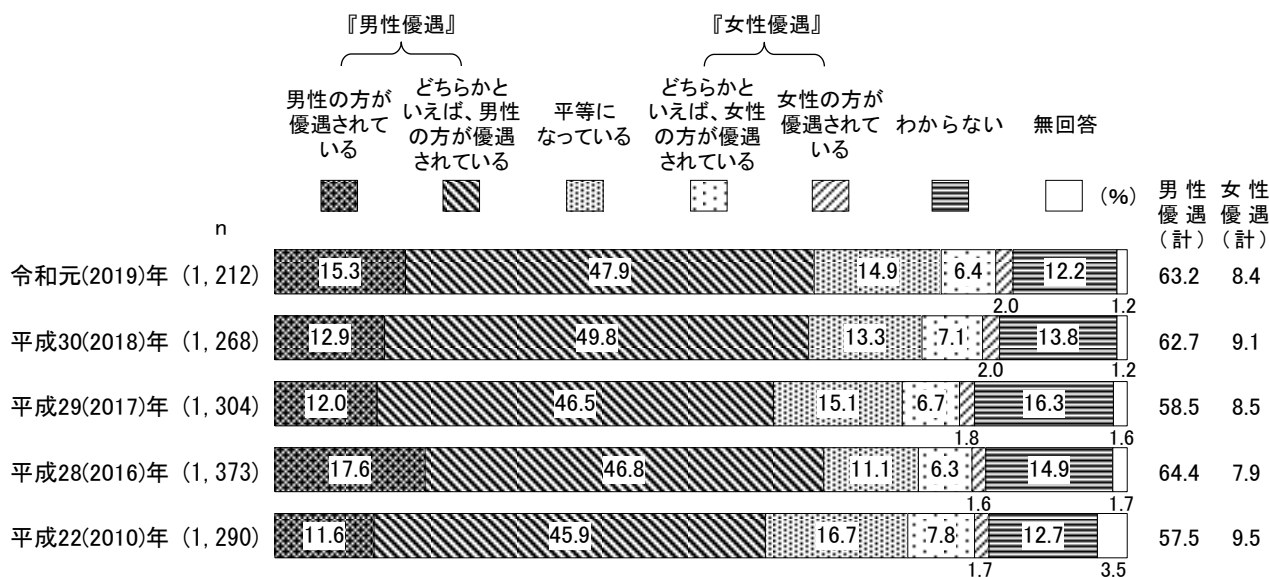
問20 あなたは、現在、社会全体の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,212]

1	男性の方が優遇されている	15.3%	5	女性の方が優遇されている	2.0%
2	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	47.9%	6	わからない	12.2%
3	平等になっている	14.9%		(無回答)	1.2%
4	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	6.4%			

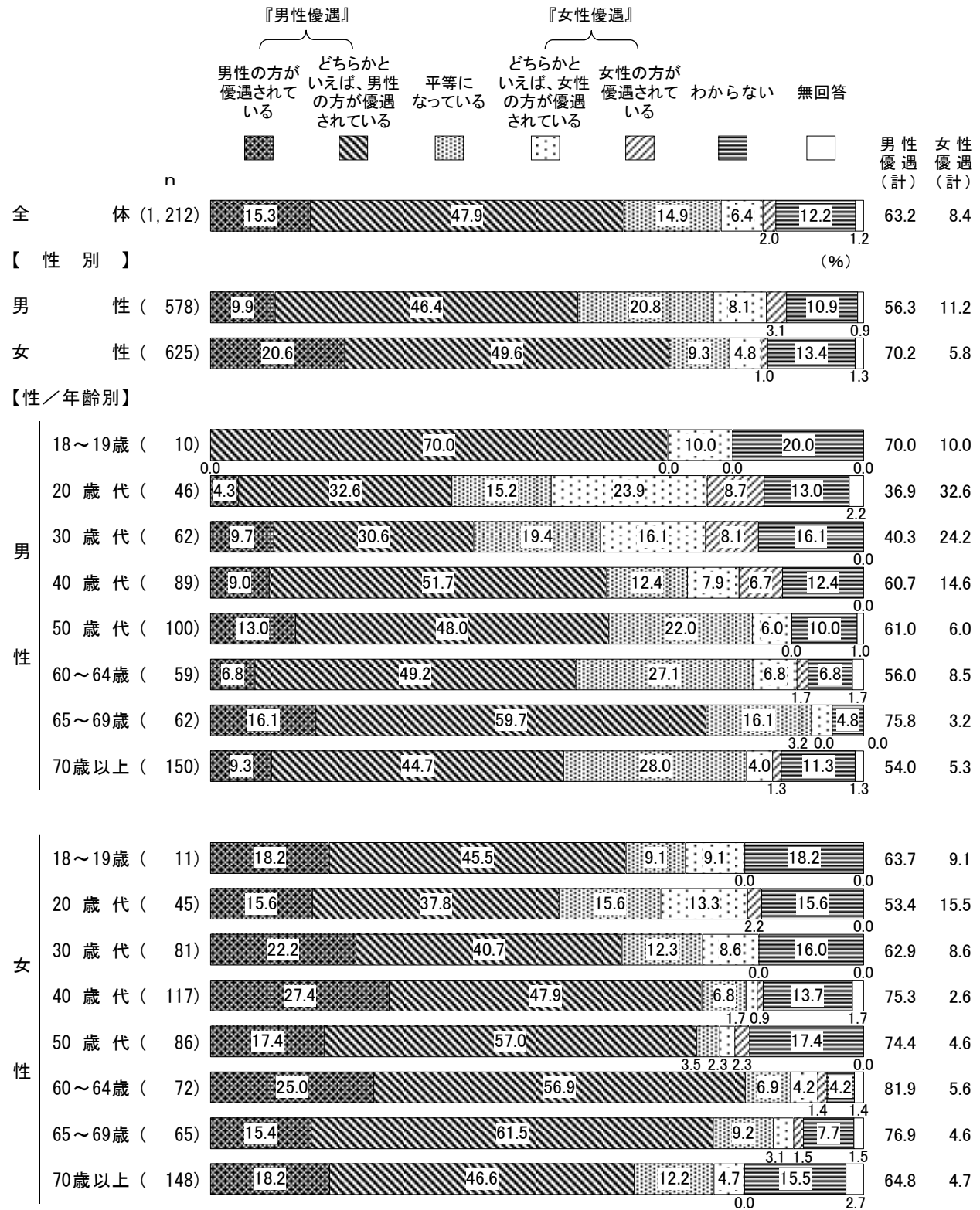


全体でみると、「男性の方が優遇されている」(15.3%)と「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」(47.9%)の2つを合わせた『男性優遇』(63.2%)は6割を超えている。一方、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」(6.4%)と「女性の方が優遇されている」(2.0%)の2つを合わせた『女性優遇』(8.4%)は1割近くとなっている。また、「平等になっている」(14.9%)は1割半ばとなっている。



過去の調査結果と比較すると、平成30(2018)年と大きな傾向の違いはみられない。

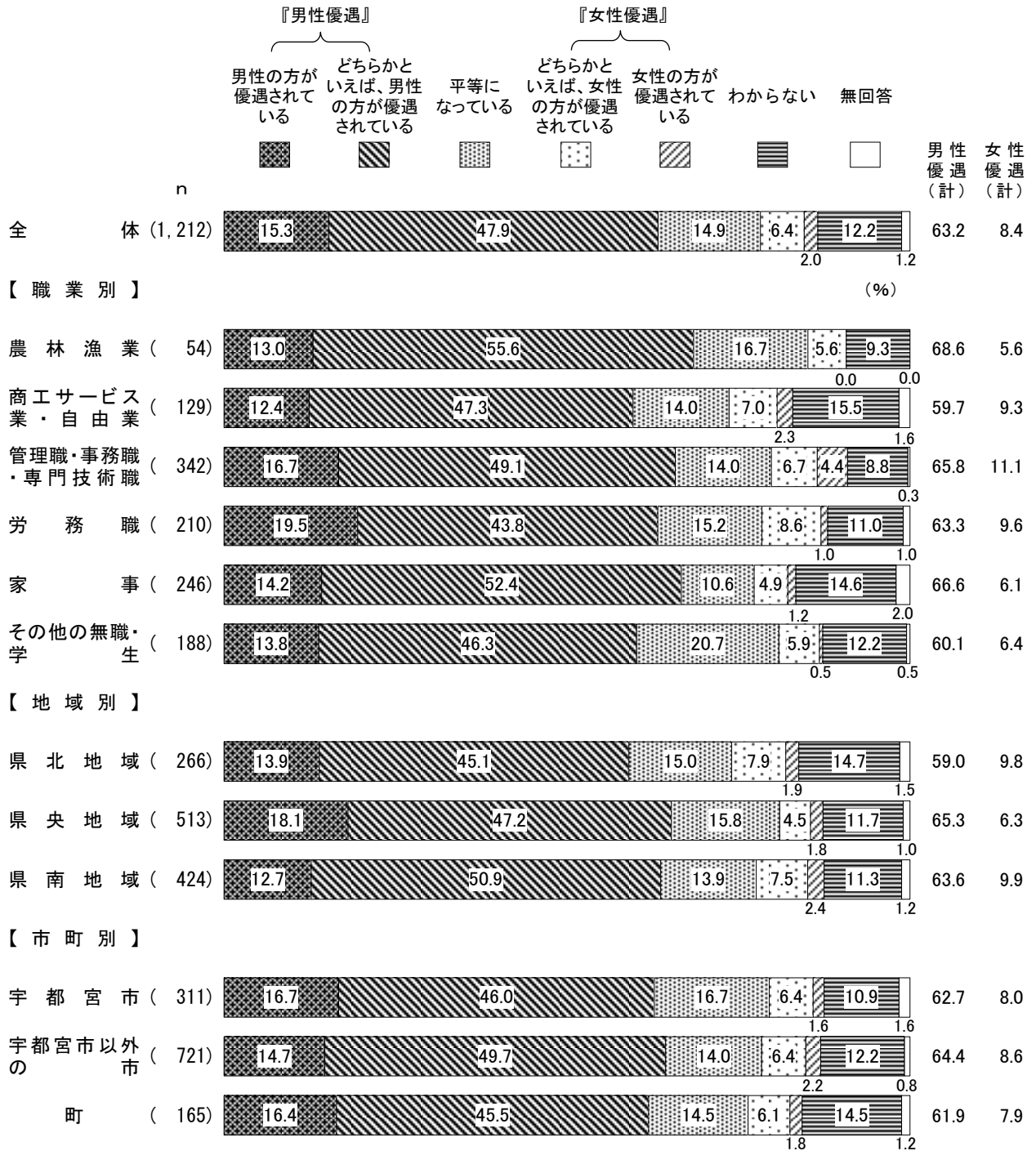
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『男性優遇』では〈女性〉(70.2%)が〈男性〉(56.3%)より13.9ポイント高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性〉(11.2%)が〈女性〉(5.8%)より5.4ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『男性優遇』では〈女性60～64歳〉が81.9%、〈女性65～69歳〉が76.9%、〈男性65～69歳〉が75.8%、〈女性40歳代〉が75.3%と高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性20歳代〉が32.6%、〈男性30歳代〉が24.2%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



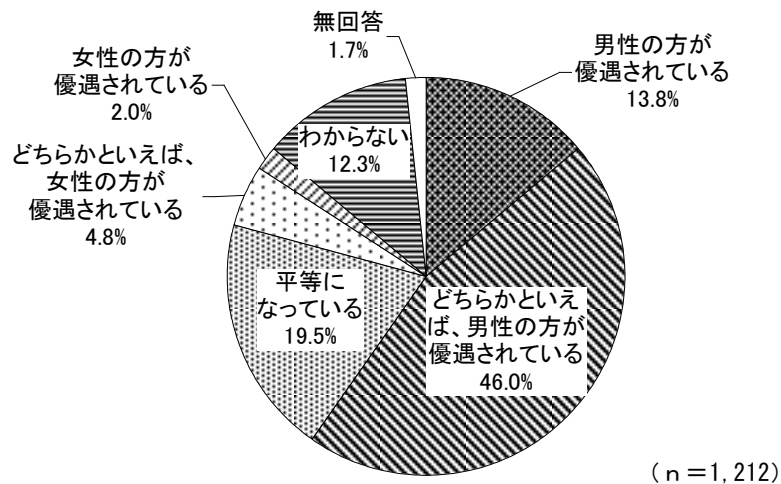
職業別で見ると、『男性優遇』では〈農林漁業〉が68.6%と高くなっている。
 地域別で見ると、『男性優遇』では〈県央地域〉が65.3%と高くなっている。
 市町別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

(2) 働く場での男女の地位の平等感

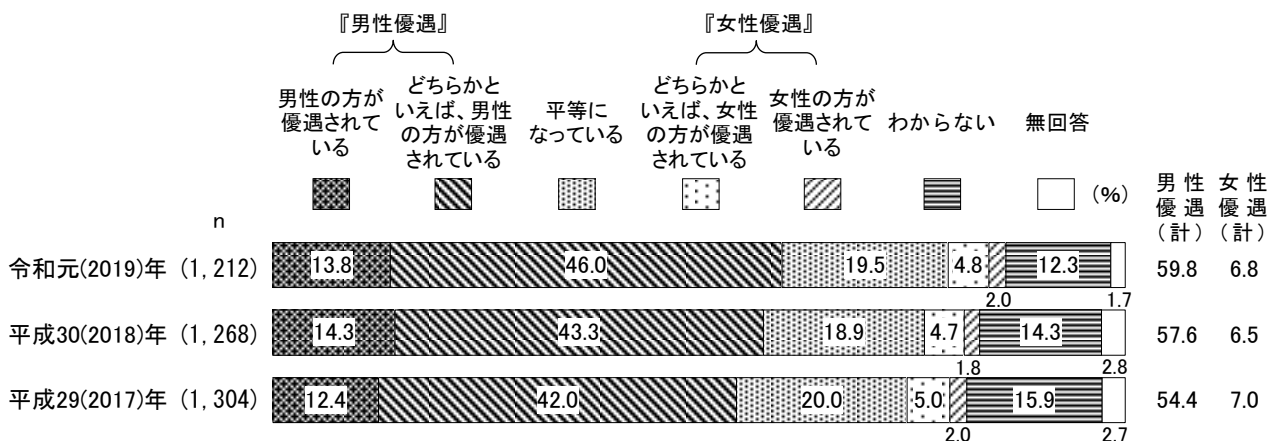
問21 あなたは、現在、働く場において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。(現在働いていない方も、イメージでお答えください。)

[n=1,212]

1	男性の方が優遇されている	13.8%	5	女性の方が優遇されている	2.0%
2	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	46.0	6	わからない	12.3
3	平等になっている	19.5		(無回答)	1.7
4	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	4.8			

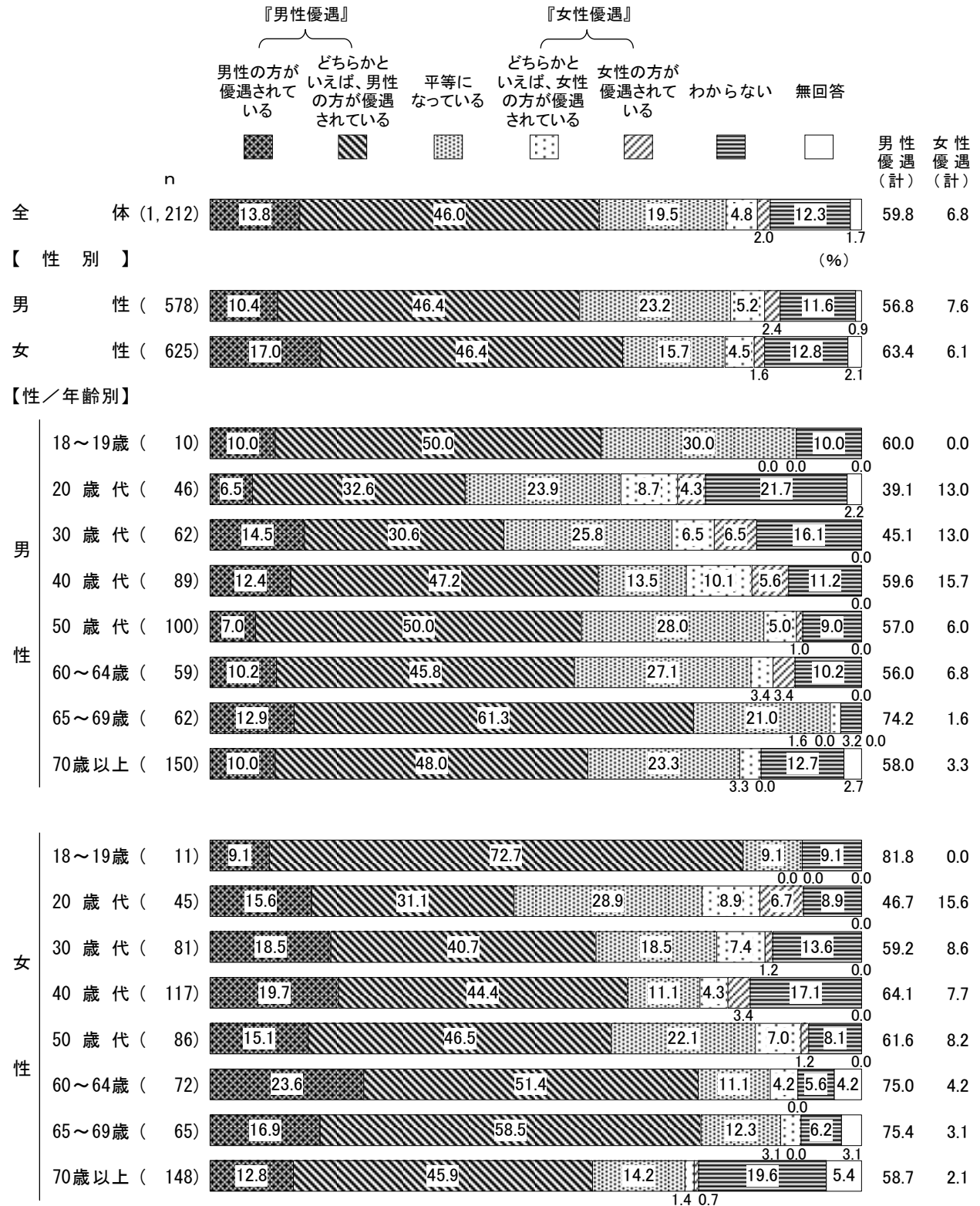


全体でみると、「男性の方が優遇されている」(13.8%)と「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」(46.0%)の2つを合わせた『男性優遇』(59.8%)は6割となっている。一方、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」(4.8%)と「女性の方が優遇されている」(2.0%)の2つを合わせた『女性優遇』(6.8%)は1割近くとなっている。また、「平等になっている」(19.5%)は2割となっている。



過去の調査結果と比較すると、『男性優遇』が平成30(2018)年より2.2ポイント増加している。

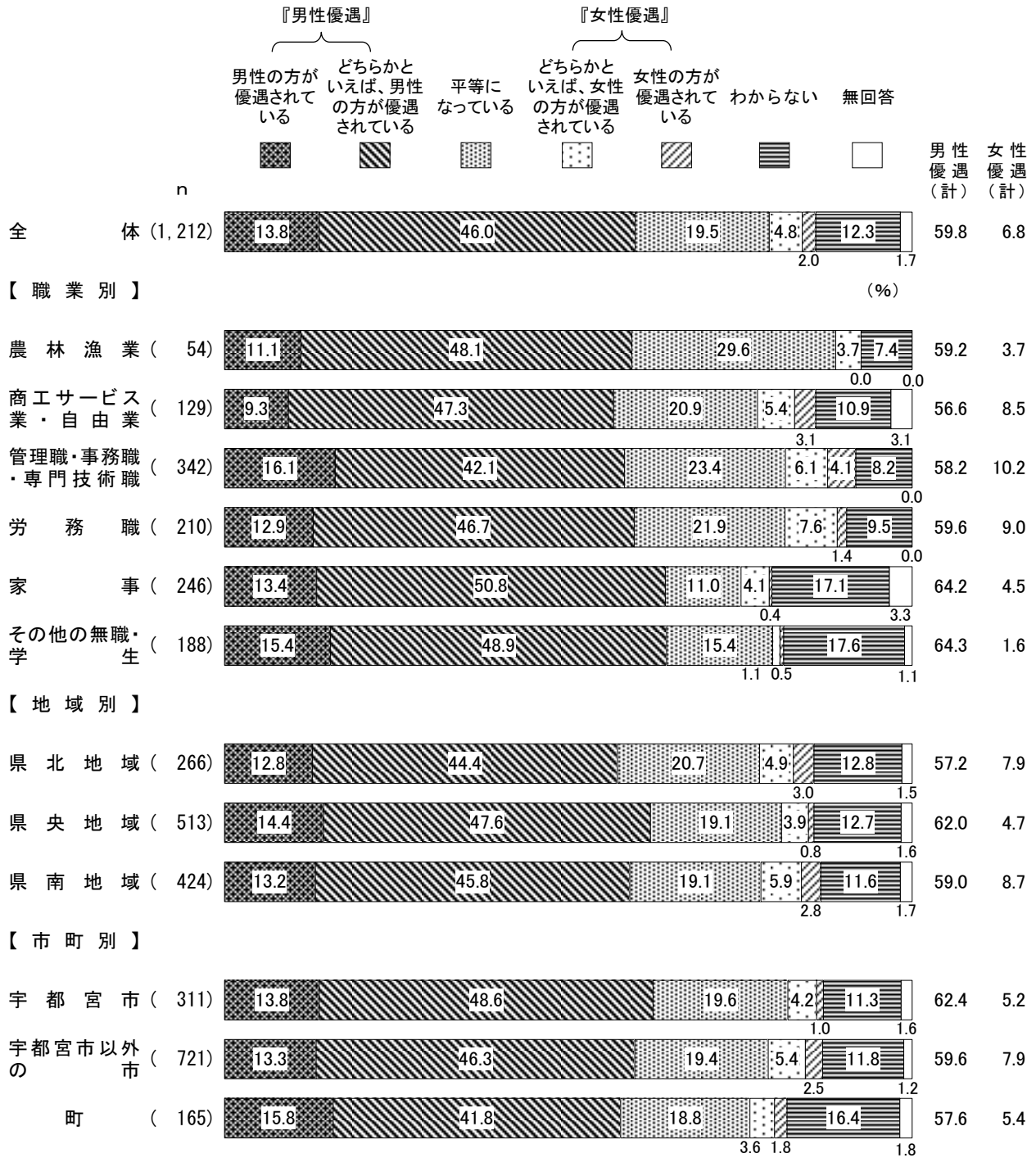
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『男性優遇』では〈女性〉(63.4%)が〈男性〉(56.8%)より6.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『男性優遇』では〈女性65～69歳〉が75.4%、〈女性60～64歳〉が75.0%、〈男性65～69歳〉が74.2%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、『男性優遇』では〈その他の無職・学生〉が64.3%、〈家事〉が64.2%と高くなっている。

地域別で見ると、『男性優遇』では〈県央地域〉が62.0%と高くなっている。

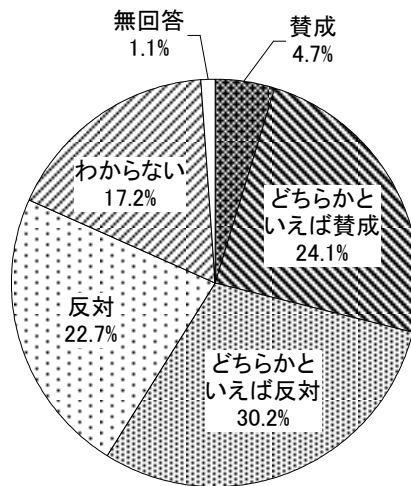
市町別で見ると、『男性優遇』では〈宇都宮市〉が62.4%と高くなっている。

(3) 固定的な性別役割分担意識

問22 あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」との考え方について、どのように
 思いますか。次の中から1つ選んでください。

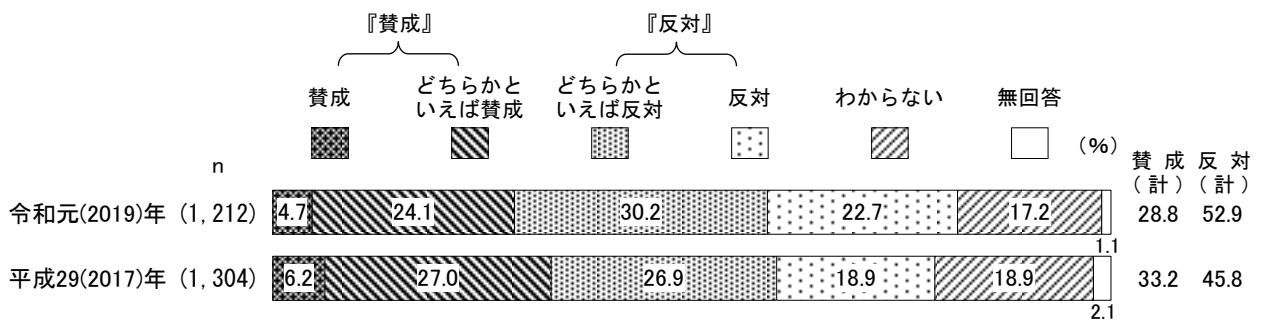
[n=1,212]

1	賛成	4.7%	4	反対	22.7%
2	どちらかといえば賛成	24.1	5	わからない	17.2
3	どちらかといえば反対	30.2	(無回答)		1.1



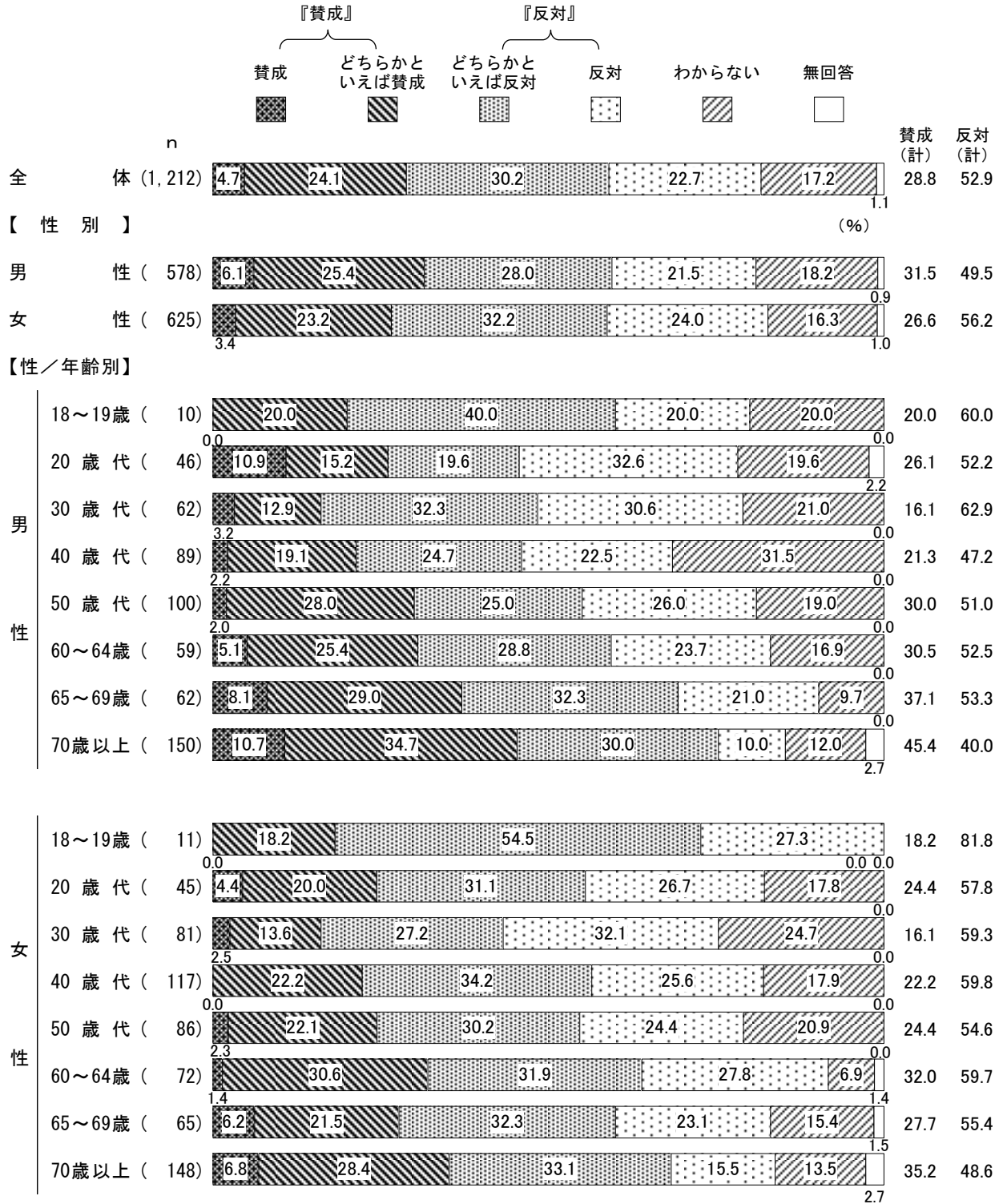
(n=1,212)

全体でみると、「賛成」(4.7%)と「どちらかといえば賛成」(24.1%)の2つを合わせた『賛成』(28.8%)は3割近くとなっている。一方、「どちらかといえば反対」(30.2%)と「反対」(22.7%)の2つを合わせた『反対』(52.9%)は5割を超えている。



平成29(2017)年の調査結果と比較すると、『反対』が7.1ポイント増加している。一方、『賛成』が4.4ポイント減少している。

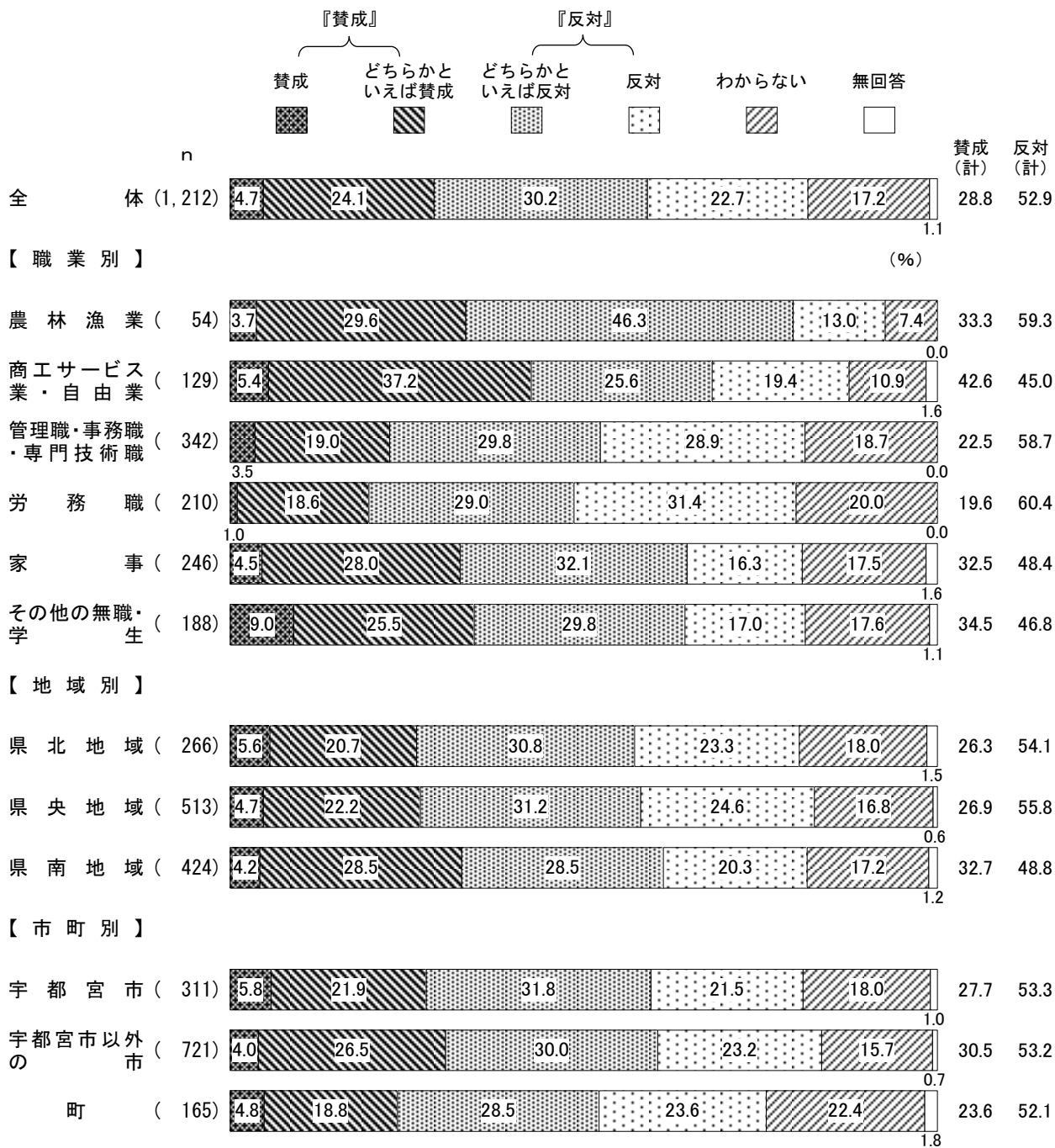
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『賛成』では〈男性〉(31.5%)が〈女性〉(26.6%)より4.9ポイント高くなっている。一方、『反対』では〈女性〉(56.2%)が〈男性〉(49.5%)より6.7ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『賛成』では〈男性70歳以上〉が45.4%、〈男性65~69歳〉が37.1%と高くなっている。一方、『反対』では〈男性30歳代〉が62.9%、〈女性40歳代〉が59.8%、〈女性60~64歳〉が59.7%、〈女性30歳代〉が59.3%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、『賛成』では〈商工サービス業・自由業〉が42.6%と高くなっている。一方、『反対』では〈労務職〉が60.4%、〈農林漁業〉が59.3%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が58.7%と高くなっている。

地域別でみると、『賛成』では〈県南地域〉が32.7%と高くなっている。

市町別でみると、『賛成』では〈宇都宮市以外の市〉が30.5%と高くなっている。